

水沢キャンパス開設30周年記念事業

～ 30年の歩みを振り返り、100年後のものづくりにつなぐ ～

日時： 令和2年10月16日（金）13：30～

会場：〔メイン会場〕奥州市文化会館Zホール（中ホール）

〔Web会場〕産技短矢巾校（サテライト会場） 外

次 第

【 水沢キャンパス開設30周年記念式典 】

- 1 開 会
- 2 式 辞
- 3 来賓祝辞
- 4 産奥会（水沢キャンパス同窓会）から母校への記念品贈呈
- 5 閉 会

※

【 ものづくりシンポジウム 】

- 1 開 会
- 2 記念講演
演題 明日の「ものづくり」の技術者に期待するもの
講師 岩手県知事 達増拓也
- 3 知事と学生とのトークセッション
※
- 4 ものづくり企業経営者と学生とのトークセッション（パネルディスカッション）

〔パネリスト〕

- ・ 株式会社千田精密工業 代表取締役 千 田 伏二夫 氏（奥州市 精密金属加工）
- ・ 和同産業株式会社 常務取締役 三 國 卓 郎 氏（花巻市 除雪機等開発・製造）
- ・ セルスペクト株式会社 代表取締役 岩 渕 拓 也 氏（盛岡市 医療機器診断薬開発製造）

〔コーディネーター〕

- ・ エイチタス株式会社 代表取締役 原 亮 氏

- 5 閉 会

※ 記念式典閉会后、及び知事と学生とのトークセッション終了後に、休憩を頂き会場準備等を行います。

明日の「ものづくり」の技術者に期待するもの

令和 2 年 10 月 16 日

岩手県知事 達増 拓也

1 岩手県立産業技術短期大学校が果たしてきた役割

- ・ 平成 2 年 4 月 岩手県立高度技術専門学院が水沢市（当時）に開設
- ・ 平成 9 年 4 月 岩手県立産業技術短期大学校が矢巾町に開校
- ・ 平成 16 年 4 月 高度技術専門学院を産業技術短期大学校水沢校に改組・整備

2 「いわて県民計画（2019～2028）」から見る技術革新と県民の暮らしの変化

(1) I o T や A I や等の技術革新・第 4 次産業革命と私たちの暮らしの変化

- ・ I o T や A I などの第 4 次産業革命技術はあらゆる産業分野、生活分野へ

(2) 県南の北上川流域は新しい時代を切り拓く先駆けとなる地域

- ・ 21 世紀にふさわしい新しい時代を切り拓く先行モデルとなるゾーンの創造を目指す地域

3 科学技術の進歩と「ものづくり」の技術者

(1) 第 4 次産業革命の先にある社会

- ・ 「“進化”を取り入れる。わたしたちがつくる未来～Society5.0」（政府インターネットテレビ）

(2) 科学技術の進歩と「ものづくり」の技術者の役割

- ・ 科学技術の新しい成果は「ものづくり」の技術者がつくる製品やサービスとして私たちの生活に

4 おわりに ～ 産技短の学生たちに期待すること ～

科学技術の進歩を私たちの暮らしの中に

《企業経営者と学生とのトークセッション パネリスト、コーディネーター紹介》

■ 株式会社千田精密工業

代表取締役 千田 伏二夫 様

創業 1979年（昭和54年）
代表者 代表取締役 千田 伏二夫
従業員数 131名
住所 奥州市前沢字五合田 19-1



【業務内容】

各種工作機械（NC旋盤、NCフライス盤、マシニングセンタなど）を使用し、図面に基づいて部品加工を行っております。主に半導体製造装置メーカー向けの装置部品を製造しております。量産工場のような単純作業の繰り返しではなく、社員一人ひとりが技術力を発揮し、開発部品や試作部品等の単品加工製品を多く製造しております。

■ 和同産業株式会社

常務取締役 三國 卓郎 様

創業 1941年（昭和16年）
代表者 代表取締役社長 照井政志
従業員数 256名
住所 岩手県花巻市実相寺 410



【業務内容】

主力商品の除雪機を中心に草刈機・農業機械の開発・設計・製造および販売に取り組んでいます。除雪機の開発や製造は、雪国で暮らす方々に安心・安全で快適な生活の一助となっています。また、ロボット草刈機を始め、きびしい農業事情を支援するための新たな農業機械の開発を行うなど地域貢献に努めています。

■ セルスペクト株式会社

代表取締役 岩渕 拓也 様

創業 2014年（平成26年）
代表者 代表取締役 岩渕 拓也
従業員数 68名
住所 岩手県盛岡市北飯岡 2-4-23



【業務内容】

指先血による臨床検査技術（Finger blood Multi parameters Panel）の顕在化と婦人科疾患の診断技術の開発に注力。これらの医療を全ての人に提供する仕組みで、アフターコロナ時代におけるSDGsゴール目標3の実現に挑戦しています。

■ エイチタス株式会社

代表取締役 原 亮 様

創業 2016年（平成28年）
代表者 代表取締役 原 亮 / 代表取締役 小澤剛
従業員数 7名
住所 東京都千代田区神田錦町 3丁目 21 ちよだプラットフォームスクエア 1313



【業務内容】

異分野連携による商品・サービス開発のプロセス創出、地域の課題解決から企業の商品企画まで、アイデア創発を通じたきっかけ作りを幅広くサポートします。1次産業、観光、介護、防災、地域資源、スポーツなどあらゆる分野に、IT活用を絡めた異分野・地域間の連携の場作りを、多数手掛けています。

【主な沿革】

年度	主なあゆみ
1990(平成 2)	高度技術専門学院 開校(4/12) 第 1 期生 4 科 74 名入学 機械技術科、制御システム科、情報システム科、設備システム科
1996(平成 9)	産業技術短期大学校 開校(4/15) 全国総合技能展:労働大臣賞入選(1/21)
1999(平成 11)	開学 10 周年記念 第 1 回学院祭開催(10/17)
2001(平成 13)	技能五輪全国大会初出場(10/27) 配管職種:銅賞受賞 以後、配管職種連続出場 入賞者合計 23 人(令和元年度現在)
2004(平成 16)	高度技術専門学院 閉校 14 期生 73 名卒業(3/10) 産業技術短期大学校水沢校 開校(4/1) 第 1 期生 3 科 59 名入学 生産技術科、電気技術科、建築設備科
2010(平成 22)	水沢キャンパス開設 20 周年記念式典(10/10)
2017(平成 29)	産技短創立 20 周年、専攻科設置 10 周年記念式典(11/29)
2020(令和 2)	水沢キャンパス開設 30 周年記念式典及びものづくりシンポジウム開催予定 (10/16)

同窓会 産奥会寄贈看板

